

神戸

基礎データ

【人口】6,760人(H21.6.30現在)
 【世帯】2,293世帯(H21.6.30現在)
 【面積】約1.062ha
 【公共施設】神戸保育園・漆田保育園・神戸小学校・東部中学校・道の駅田原めつくんはうす
 【主な産業】農業・商業

校区の特徴

神戸校区は、田原市の南東部に位置し、古くからの市街地、市街化調整区域にある農業地域、そして区画整理事業で新しくできた地域など、計15地区で構成されています。

コンパクトな都市機能と、豊かな自然が混在するバラエティに富んだ校区で、太平洋岸沿いの地域は、古くから農業を中心として栄え、国道259号周辺の地域は、商業地や住宅地として発展しています。

「みんなが参加 みんなで学び・創る活力ある神戸校区」を将来像に、校区住民が一緒になってまちづくりを進めています。

●神戸市民館



竹炭づくり

神戸大池のほとりに炭焼窯を構え、平成20年度から竹炭づくりに取り組んでいます。校区内の里山

保全のために竹林の間伐を行い、その竹を材料として活用することで、環境の整備と、校区住民のコミュニケーションを図る機会となっています。



盆踊りのつどい

長年行っていなかった「盆踊り」を、校区の誰もが参加できる楽しいイベントとして、平成19年度から復活させました。以前は、青年団が中心となっていましたが、現在は校区が中心となって開催し、子どもから大人まで、皆さんに楽しんでもらえるイベントとして親しまれています。



みんなでつくる公園

●公園計画図(案)



神戸・大草・六連・田原東部の4校区で構成する「田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会」が、平成10年3月に策定した地域活性化の基本計画に基づき、谷ノ口地区の太平洋岸において、森林レクリエーション公園の整備が進んでいます。公園の計画は、地元住民と市が会議を重ね、話し合いながらつくりました。

この公園には、都市と農村との交流拠点となるような施設を予定しており、現在は、地元自治会や有志による環境整備が進められ、地域の活性化にむけて大いに期待を集めています。

●公園予定地から太平洋を望む

